

14. 【陸域：陸上養殖】 漁港施設用地に事業者を公募して陸上養殖施設を設置：泊漁港（鳥取県湯梨浜町）

概要

- 鳥取県は、海面養殖に適した内湾がない上、冬期風浪の影響等で前浜での養殖ができず、養殖業の発展が遅れていた。
- このため、県が海水井戸水を用いた陸上養殖事業に支援する養殖推進事業を展開。
- その結果、民間企業がひらめ、あわびの養殖を実施し、漁業振興や地域活性化に貢献している。



背景

- 鳥取県は、海面養殖に適した内湾がない上、冬期風浪の影響等で前浜での養殖ができず、養殖業の発展が遅れていた。
- 一方、陸上養殖には気象・海象の影響を受けにくい等多様なメリットがあり、競争力のある産地づくりを進めるにあたり欠かせない手法の一つ。
- 事前に県が実施した試掘調査により地下海水取水の目処が立っていた。

有効活用の内容

- 加工場用地等にヒラメ、アワビの陸上養殖施設を整備。
- 事業者は公募により決定。
- 養殖施設に隣接して直売所と食堂の整備や、地元醤油業者との連携による商品開発等、養殖以外の事業についても展開。

活用した漁港施設	漁港施設用地（加工場用地等）
実施時期	平成25年
実施主体	湯梨浜振興合同会社（施設の設置者）
活用した事業	陸上養殖起業支援事業（県1/3、市町村1/6）
実施した手続き	財産処分申請（目的外使用）、占用許可、漁港施設用地利用計画変更

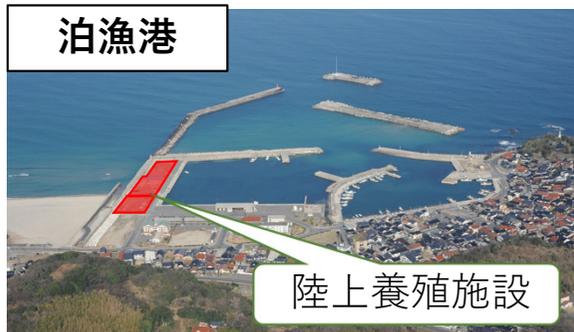
効果

- 陸上養殖により、5.0tのヒラメを生産（R1）。
- 県内外から見学者が訪れているとともに、海の駅まつり等の開催により、漁港地域における新たな賑わいを創出。



- 近隣の道の駅における養殖魚を利用した「ひらめのうまか井」の販売や、地元自治体のふるさと納税返礼品となっている等、地域が一体となって地元水産物のPRを行っている。

泊漁港



陸上養殖施設

